

# 令和3年度第1回日田市総合教育会議会議録

開催年月日	令和3年12月22日(水)
開催日時	午後1時00分
開催場所	市役所本庁7階 中会議室
出席委員	日田市長 原田 啓介 職務代理者 木下 靖郎 委員 諫本 憲司 委員 佐々木 美徳 教育長 三笥 眞治郎 委員 永山 眞江 委員 古田 嘉寿美
事務局職員	企画振興部長 地方創生推進課長 地方創生推進課主幹(総括) 地方創生推進課職員 教育次長 教育総務課長 教育総務課主幹(総括)
議題	(1) 日田市教育大綱の改訂について (2) その他

事務局	<p>ただいまより令和3年度第1回日田市総合教育会議を開会させていただきます。</p> <p>次第の1でございますが、開会に当たりまして原田市長が御挨拶申し上げます。</p>
市長	<p>皆さん、こんにちは。平日のお忙しい時間帯に、本日、令和3年度第1回総合教育会議ということで御足労いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>今年振りかえれば、コロナ感染症の中で子どもたちを取り巻く環境というのがこれまでにないほど厳しい状況を迎え、本当に教育現場の在り方というものが大きく今後問われていくのだろうという大きな課題を我々は背負っているのだと考えております。社会全体としても、経済の見直しもしなければならぬ中での新たな船出ということになろうと思います。</p> <p>そのような中で今回、この教育大綱の見直しということで皆さん方に御議論いただくわけですけれども、この教育大綱、教育行政の指針となる法律に定められている大綱でございます、現在の大綱が期限を迎えたということで、見直しについて、今日皆さんからご議論いただくということでございます。</p> <p>変更点も含め事務局から説明があらうかと思ひますし、今日ここで全て話したことが全て終わりだという話じゃなく、まず入り口だということで、ざっくばらんに、本当に感想であったり、未来像というようなものを皆さん方から御意見を伺えればと考えておりますので、短い時間にはなろうかと思ひますけれども、最後まで充実した時間をとりたいたと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>続きまして三笥教育長、御挨拶をお願いいたします。</p>
教育長	<p>教育委員会を代表しまして一言御挨拶を申し上げます。</p> <p>教育委員会ですけれども、10月に2名の教育委員の交代がありまして、新しい体制としてスタートしているところでございます。</p> <p>本年度は、新型コロナウイルス感染症が依然として終息が見通せない中、昨年度のような、長期にわたる臨時休業措置等は講じることはございませんでしたけれども、いかに子どもたちの学びを保障していくかについて、常に課題意識を持ち、学校現場との連携による着実な学校教育の実施を心がけているところでございます。</p> <p>本日の議題となっております教育大綱につきましては、教育行政を行っていく上で、大きな指針となるものでございます。</p> <p>限られた時間でございますけれども、私ども教育委員会と市長と有意義な意見交換が図れればと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p>

事務局	<p>ありがとうございました。それでは、協議事項に入らせていただきます。市長の進行で進めさせていただきますので、市長どうぞよろしくお願い致します。</p>
市長	<p>それでは、第1回の日田市総合教育会議を開催させていただきたいと思ひます。協議、進行は私のほうでさせていただきますのでよろしくお願い致します。</p> <p>それでは早速、議題の日田市教育大綱の改訂について、事務局から説明をいただきたいと思ひます。よろしくお願い致します。</p>
教育総務課長	<p>【資料に基づき、日田市教育大綱の改訂について説明】</p>
市長	<p>ただいま事務局のほうから説明がございました。</p> <p>大きな変更としては、この中で出てくる2番目「安全、安心で、学びを支える学校づくり」というところですね。ここが大きな変更点だということの説明がありました。ここから先は少し時間がございませうので、ざっくばらんに、ここだけにとらわれず、お話を聞かせていただきたいと思ひます。</p> <p>先日、教育委員会とこのことを話したときに、基本方針として5つの言葉が出てくるということは構わないけれども、これは一体どういう具体的な事業を意味しているのかと。この言葉の背景に、どういった実効性のある施策というものが見えるのかということが大事なので、どちらかといえば、今日はこの言葉一つ一つの向こうが見えてくる、これまでに取り組んだ施策の成果もあればその成果、それから課題があればその課題、それから新たな取組というものの可能性というものを感ずるのであれば、そういった可能性というものを教育委員の皆さん方にも肩の力を抜いていただいて、率直なところでいろんな話をお聞かせいただければと思ひますので、よろしくお願い致します。</p> <p>これまでの方針に則って行った事業の中で成果があったとかなかったとか、途中で大きな課題を感じたとかということがあれば少し聞かせていただきたい。</p>
教育長	<p>それでは、まず教育大綱の基本方針の一つ目「夢と誇りを持ってたくましく生きる子供を育てます」という大きなタイトルなんですけれども、これは学校教育に関わる部分だと思っております。</p> <p>具体的にどんなことをやってきたのかとなると、先ほど説明がありました教育行政実施方針の6ページの部分が、具体になろうかと思っております。左側がこれまでのもので、右側がこれから新たな教育行政実施方針としてやっていこうということでもありますけれども、左側を見ていただくと、学校</p>

<p>市 長</p> <p>永 山 委 員</p>	<p>教育の充実で、Ⅱの第Ⅰ「夢と誇りを持ってたくましく生きる力」を育てる学校教育の推進で、Ⅰ 子供の力と意欲を伸ばす学校教育の充実として、①から⑦まで項目立てを行っております。</p> <p>①が咸宜園教育の理念を生かした学校経営の推進ということで、これについては全ての学校で、咸宜園教育の理念を生かした学校経営ということ計画を立て取り組んでいただいております。</p> <p>全ての学校で行っているということで、100%行っており、内容については省略させていただきますけれども、いろんな取組を行っております。</p> <p>それから、②確かな学力の育成につきましては、令和2年度、令和3年度はコロナ禍で、令和2年度は学力全国調査ありませんでしたけれども、令和元年度までは、全国調査で中3、小6ともに全ての教科を学年で全国平均を超えるという結果で、学力も全国を上回るというような成果が見えてきていたところでございます。これは継続して取り組んでいかなければいけないと思っているところでございます。</p> <p>気になるところとしては、やはりこの2年間ないし3年間の中で、⑤のいじめの認知件数は減ってきているんですけども、不登校が増加傾向にあるということ、そして低年齢化しているということが、全国的に、大分県もそうですし、日田市もそのような傾向にあるということです。</p> <p>それから⑥については、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導の充実ということで、特別支援教育であったり、先ほどの不登校の早期発見・相談であったり、いわゆる子育てに関する相談であったり、それに対して教育センターに臨床心理士だったりスクールソーシャルワーカーだったり、心の相談員といういろんな専門スタッフを配置しているんですけども、この辺を今後とも充実していかなければいけないのかなということも思っているところでございます。</p> <p>そういった視点で、教育委員の皆さんからも少し御意見等いただければありがたいかなと思っているところでございます。</p> <p>教育長の意見を聞いて、永山委員にご意見をお願いできますか。</p> <p>策定してもう6年も経つのかなと思っているんですが、この資料の11ページにある他の市町村を見ると、確か前回ものすごくみんなで話し合っていて、誰が見てもわかりやすい言葉を使いたいですね、ということで進めてきたのが、日田市だけちょっと他の市と違うんだなと思って今ちょっとびっくりしています。</p> <p>14ページを見て気になったのが、自然災害や事件・事故の備えという部分は、日田市が特に、ここの土地柄というか、日田市が非常にそういう災害への備えですとか、子どもたちに逃げなさい、生きなさいという指導は、実際にはしていただいていると思うので、こういう言葉も入れるべきだっ</p>
---------------------------	---

<p>諫 本 委 員</p>	<p>たのかなと思っているところです。以上です。</p> <p>永山委員が言われたように、今回はできるだけわかりやすい言葉で表現し、優しい言葉でということだったので、それはそれでよかったかなと思っています。</p> <p>この間、学校訪問をした際に一番感じたのは、もちろんICTというかタブレットを皆さん持ち始めたので、それで授業風景が大分変わってきたというのを感じました。それは、多分いいことの方がほとんどで、6ページの教育行政実施方針の、先ほどの教育長の説明で言えば、②の(1)で「学習意欲を高める学習指導の充実など『分かる』『できる』授業の実現」とか、そういうところに当てはまるのかなと思ったのですが、子どもたちが自分で探して自分で発言して、答えて、みんなで話をして、一緒に課題を解決していくような場面がよく目に付いたので、今から一番必要となっていくことに少しずつ進んでいるという実感がありました。</p> <p>このままでもいいのですが、確かなものとして、今こういった実感があり、特にまた進めていただきたいなというところがあるので、字句で強調できればありがたいかなと思います。</p> <p>それから、大分県の長期計画の最後に入っていましたけれど、SDGsの関係で、もちろん教科書の中にもSDGsを絡めた表現とか、関連とか、教科書にも謳われていますけれども、やっぱり今から育ていく子どもたちには、このSDGsの感覚、理解というのは、どの目標に向かうのか勉強することは大事なことだろうと思いますので、大綱に入れる必要はないのですが、教育行政実施方針の中で、少し表現していただいたらなと思いました。以上です。</p>
<p>木 下 教 育 長 職 務 代 理 者</p>	<p>私は前回、教育大綱策定の時期は、教育委員になったばかりということで、余り意見等言えなかったわけなんですけれども、先ほど永山委員がおっしゃったように、日田市の教育大綱、企業の経営理念のような感じで、とてもスマートで、わかりやすい、すばらしい大綱なのかなと思っています。</p> <p>私から申し上げたいことは、先ほど教育総務課の説明の中で、14ページの大分県長期教育計画の改訂に当たり追加された項目で、下線が引かれている部分ですけれども、その中の下の丸の部分の総合的推進のために必要な視点ということで、「学校における働き方改革」というものがあるんです。</p> <p>追加されているようなんですけれども、今回の教育行政実施方針の改訂案を見させていただいたんですが、この部分について触れている部分がないのかなと感じたところです。</p> <p>先ほど教育長から学校教育の充実について、御説明がありましたけれ</p>

	<p>ども、その中に教職員の働き方改革の推進というのを追加してみたらどうかなど。余計なことかもしれませんが、そういったふうに思っております。</p> <p>企業の経営理念などには、お客様と社員の幸せのためにと、こういった文言がよく使われます。学校教育におきましても、先生方の満足度を高めるような方針も中に入れてもいいのかなと思ったところです。以上です。</p> <p>保護者の立場からこれを見してみると、例えば、学校教育の充実、確かな学力の育成というところがやはりとても気になるところで、成績の良くない子たちをどうやって高めていくのか、日田市としての学力が県で何番くらいだったらいいか、全国平均を超えたらOKなのか。何か具体的な数値目標といったものがあるのかなと思いました。</p> <p>ICT教育が始まったばかりなので、これから学力がそれによってどう変わるのか。また、その学力とは違って、会話力とか、思考力とか、そして、みんなの前で発表したりという力も同時についていくので、もちろん学力だけではないんですけども、そういう数字の面も気になりました。</p> <p>それから、誰もがスポーツに親しめる環境づくりという部分もとてもすばらしいと思います。芸術を親しみ学べる環境づくりというのもすばらしいと思うんですけども、何年かに1回、みんなで何かの舞台を見に行くとか、県のOPAMに社会見学で行くとか、そういったことを多分言っているのだと思うんですけども、身近なアオーゼにすごくいい展示があるから、みんなで見に行ったりとか、そういうことを日田市の中でも芸術鑑賞の機会をもう少し作ったらどうかと思ったのと、障がいがある人のスポーツの推進というのが、すごくいいと思いました。</p> <p>日田市の特色を生かしたスポーツの推進というのは、例えばどういうものかなとか、すばらしい言葉ばかりが並んで、私ももうちょっと知らないといけないなと思いました。以上です。</p>
<p>古 田 委 員</p> <p>佐 々 木 委 員</p>	<p>私は教育委員になったばかりで、よくわからないことが多くて一通りこれを読んだのですが、すばらしい大綱だと思います。</p> <p>ただ、「未来を切り拓き、ふるさとを愛する」ということであれば、この中のどこかに地域を担うとか、地域を支えるという文言がどこかにあったのかなと思いつつ結構読んだんですね。</p> <p>直近の課題として人口減少というのは、すごい問題だと思うんですね。中学校、小学校訪問でも一対一で授業というところもあったりして、経済の面から人口減少というのはすごい課題であるし、今の日本経済を支えることも大事ですが、日田市を支える子どもさんというか日田市を支える人材をつくるんだという気持ちを出していかないと、なかなか日田には帰って来ないというか、今、小・中・高で連携してると思うのですが、将来的にいつかは日田に戻って日田を支えてもらいたいという思いもありますし、このま</p>

<p>教育総務課長</p>	<p>ま2060年には5万人になると何かを書いてありましたけれど、今後、人口減少が進んでいけば結構いろんなことが大変になるのではないかと思いますので、そういう文言がどこかにあればなというところがあります。以上です。</p> <p>御意見ありがとうございます。</p> <p>まず、永山委員がおっしゃっていた災害に関する取組、備えというところになりますけれども、基本方針で申し上げれば、「安全・安心」という中に取組が含まれていると考えております。実際には、取組の中で、コミュニティ・スクールの柱の中に防災教育を位置付けておりまして、地域の方と一緒に取り組んでおります。新聞等でも紹介されていると思いますけれども、今、タイムラインの作成についても、ある学校で取組を始めていますので、それを進め、広げていく取組、そういった形でもやっているというところがございます。</p> <p>何回も災害を受けておりますので、学校での訓練であるとか、そういった取組も必ず各学校で行っている状況もございますし、それから今の学校情報配信メールですが、学校からいろんな情報を配信しておりますけれども、そちらにつきましては、今一方通行の形になっておりますので、来年度以降は、必ず情報が届いたかどうかということが分かるように、改修に向けて取組を進めているところでもあります。そういった情報が災害時においてもきちんと保護者に届くような形で取組を進めているところがございますので、この教育行政実施方針の項目立てとしては表れておりませんが、その下の具体的な取組の部分では、そういった取組も進めているということも申し上げたいと思います。</p> <p>それからSDGsの関係です。教育行政実施方針を今改訂しておりますが、その中で、市の個別計画では必ず、この事業がどのゴールに位置付けられているかということを示すようになっておりますので、実施方針におきましても表記を追加する予定でございます。</p> <p>その中で、教科横断的に行っておりますESD教育についても、学校教育全体に関わるところでございますので、少し説明を加えたものを作りたいと考えているところでございます。</p>
<p>教育次長</p>	<p>私から、委員の皆様から御意見いただきました点についてお答えさせていただきます。</p> <p>確かな学力ということで、ICTによって学力向上をはじめ、何がどう変わるかということでもありますけれども、当然タブレットを使っているということで、1つには、これからの未来社会の担い手となる子どもたちに求められるものは情報活用能力という新たな資質能力ということになります。具体的には、自分で情報を集め、考えてそれを周りの仲間と意見交換し合いなが</p>

ら、最適な答えといえますか、みんなが納得するような答えを導き出すとか、そういったプロセスで能力を身に付けるということも一つ大きな目的です。学力に加えて、そういったところこそが今からの時代に求められるということで、学校教育の現場においてもそういったところを目指して子どもたちの教育活動を進めていくことを教育行政実施方針の具体的な取組の中で、目に見える言葉として、御意見をいただきながら見直しもしていきたいと思います。

それと、誰もがスポーツに親しめる環境づくりでございますけれども、そういった機会の創出、いろんな大会であるとか、イベントの創出ということとあわせて、各種施設の整備を行い、いつでもどこでも誰もがということを目指しているところでもあります。

そして、障がいのある人のスポーツの推進ですが、特に今回、パラリンピックが行われる中で、日田市においても採火式の実施も行いましたが、具体的には、ポッチャという競技をスポーツ推進員の方を中心に普及していこうという取組も今しておりますので、スポーツ推進計画の中でも新たに項立てをして、日田市として取り組んでいこうとしております。そういったところを先ほど申し上げた実施方針の中に落とし込んでいくということです。

それから文化芸術に親しめる機会の提供ということで、確かに福岡などに皆さんが出て行くという部分がありますけれども、アオーゼであるとか、パトリア、そういったところでの各種イベント、企画展などを行いながら、市民の方に文化芸術を身近なところで親しんでもらうという取組を進めており、今後も充実させていきます。

もう1点、日田市の特色あるスポーツということですが、やはり、川を中心としたボートもそうですし、ここ最近でサップというんですかね、スタンドアップパドルとか、そういった新しいスポーツも見据えて、水に親しめるようなスポーツ、それともう1点はやはり自転車ということで、数年来、前津江・奥日田を中心にヒルクライムという自転車レースも行っていますので、こういったものを日田市の特色として、市民の方にも親しんでいただきたいということと、そういった大会を通じて、市外から日田においでいただくという交流人口の増加等を目指す取組を今進めております。

最後に佐々木委員から御意見をいただきました地域人材につきましては、学校教育の現場では大人先生であるとか、そういったキャリア教育の中でも取り組んでいるところです。それは地域課題の解決ということにもつながってまいりますので、そういった意味からするとやはり社会教育と生涯学習の領域の中で、地区公民館を中心にして、地域の課題をテーマとして自分たちで勉強して、地域の振興策といえますか、地域課題の解決につなげていこうという取組をしております。そういったところについて、今見直しを進めております教育行政実施方針の具体的な取組として盛り込みながら、本日、皆さん方に御意見をいただいておりますが、その上に位置し

市 長	<p>まず基本方針なり基本理念、そういったところを目指していこうと考えております。以上です。</p> <p>一通り意見をいただきましたけれども、例えばこの中で、今回改正していきたいという「学びを支える」というところで、学びを支えるような取組を今年度、昨年の特にコロナ禍から始まってからいろいろ取り組んできたと思いますが、課題と今後どんな展望があるか、もう少し話を聞かせていただけるとありがたいですが。</p>
教 育 次 長	<p>学びを支えるということで、安全安心という部分で言いますとやはり施設整備というハードの部分もそうですけれども、先ほど申しあげましたような子どもたちに対する防災教育を行いながら、自分の命は自分で守るというようなことも身につけていただくということ。</p> <p>それと、課長から申しましたような、やはり特別な支援を要する子どもたちに対する教育ということで、昨今インクルーシブ教育ということを言われておりますので、今、日田市で行っていますような特別支援教育の体制も含めてですけれども、そこで従事する先生方が子どもたちの個に応じた教育をいかにして行うことができるかということを目指してやっていくということ。</p> <p>それからICT、タブレットで個別最適化の学びということを言われていますが、個人個人の理解力だとか、個人に応じた学習の在り方について、今現在の話で申しますと、国の事業を活用しましてAIドリルというものの実証実験に取り組んでいます。</p> <p>できないところをAIが判断し、それに応じた問題を出しながら理解力を高めていくという形で学力の向上に取り組んでいるところです。そういった中で学びを支えていく、それと、昨年来のコロナ禍においても基本的には学校を閉じることなく、進めていくということになってまいりますので、そういった意味ではICT、タブレットを使いましたオンライン学習であるとか自宅学習、こういったところは新年度以降の予算化に向けた取組であるとか、今後の大きな流れにはなってくると考えておりますし、環境整備をしながら、基本方針に新たに加えました「学びを支える」というところにつなげていくと考えているところです。以上です。</p>
市 長	<p>せっかくですからそれに関して御意見があれば。</p>
教 育 長	<p>古田委員から、確かな学力の部分がちょっと気になるということでお話がございました。やはりここは学校教育の中で一番肝の部分だろうと思ってはいるんですけれども、どうしても全国学力調査の結果が一つの目安となりますので、この教育大綱を受けた教育行政実施方針の中に指標をつくっ</p>

<p>市長</p>	<p>ております。</p> <p>その中に、当然、全国調査の結果、平均以上の割合等を目標にしているところもあるのですが、それ以外に、将来の夢や目標を持っているかという質問事項等もありまして、ここでは、日田市では小学生の80%以上、中学生の70%以上が持っていると答えているんです。</p> <p>この辺は、日田の子どもたちは全国的にも高い数値を出しているんです。あるいは、難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦しているかとかですね。1か月にどのくらい本を読んでいるかというのがありますし、自分の住んでいる地域が好きなのかというような質問もあります。</p> <p>ただ単に、学力の平均値だけではなくて、全国調査の質問の中にもたくさん項目がありまして、そういったいろんな角度から調査をしており、そういう部分は教育委員会でも、また学校でもしっかりと見極めて、また、保護者や地域の方に公表していくというような取組も、今後継続していかなければいけないのではないかと考えているところです。</p> <p>佐々木委員からご意見がありました「未来を切り拓き、ふるさとを愛する人づくり」という大きな基本理念の、まさに「未来を切り拓き」という部分が、子どもたちにとっては自分の未来であり、御家庭の未来であり、また、私側から見れば日田市の未来であるという、そしてふるさと日田を愛するような子どもたち、市民の皆様をつくるんだということですから、学校教育はもちろんです、商工観光であったり、企画であったり、まちづくりの部局が一体となって、引き続き取り組んでいかなければいけないことかなと思っています。これは実施方針の中で落とし込んでいくことになるかと思っています。</p> <p>それから、やっぱり何といたしましてもICT教育ですね。タブレットを使っての教育は今後の一つの目玉になるかと思っていますので、それとあわせて教職員の働き方改革ですね。この項目は、確かに木下委員がおっしゃった部分では、実施方針の中にもなかなか具体的には表されていないので、取り入れていければと思っていますところなんです。</p> <p>ご存じのように、今年の1月に中教審答申、「令和の日本型学校教育の構築を目指して」という答申が出されまして、その中でキーワードが個別最適な学び、そして協働的な学び、子どもたちがこれからの社会を豊かに切り拓いていく。そして持続可能な社会の担い手となるような教育を今からしていくんだということで、まさに今度の教育大綱の見直しは、そういった中教審答申をにらんでの改訂作業になるかなと思っていますところなんです。</p> <p>また、御意見をたくさんいただければありがたいと思っていますところでございます。</p> <p>ありがとうございます。未来を切り拓きということで、結局しっかり前と上を向いて歩いていけるような子どもたちをしっかりと育てていこうという基本</p>
-----------	---

的な方針なんだろうと思っていますので、ぜひやっていただきたいと考えております。

ただ、あわせて先ほど、SDGsですとかインクルーシブという言葉が出てきたように、誰一人置いて行かないような社会、持続可能な社会をとということの中で、先ほどから少しお話も出ています弱者と言われている方、もしくは課題のある方、様々いらっしゃる中で今、教育委員会とこども未来課と一緒に話を進めています子育て拠点施設の整備というものもやっているところなんです。

ちょっとこの場ですので、少しその意見も聞かせていただければと思っています。そもそもこの拠点施設を作っていくと方向を決めた中で、やはり児童虐待も含めて家庭が非常に複雑化している、子どもがそもそも育つ環境が厳しい状況になっている、また、今回コロナ禍を経験する中で共働きであったり、一人親世帯であったりということの中で、子どもを育て、学ばせるという環境にあるのかというようなことなど、大きな課題が一気に出てきたような気がします。

そういったものも含めて、子どもたちをしっかりサポートできる体制があったり、本当に課題があったときに専門的に支える施設も欲しいなど考えておまして、以前から取り組んできている中で、児童家庭支援センターというものを日田市に設置するようになりました。今年度内にはできます。

なお、2年、3年かけて、しっかりと充実した形にしていこうと思うんですけども、ここと教育現場のひも付けというか、しっかりしたネットワーク化ということも大きな課題だろうと考えておまして、この教育大綱にある意味、底支えするような施設になればと。私は行政の立場からそういうふうにしたらいと考えているので、もし御意見があれば、少しお伺いしたいと思っていますが、永山委員いかがでしょうか。

永 山 委 員

私は別の市町村でスクールソーシャルワーカーをしていますが、家庭が抱える問題はどんどん複雑になっています。子どもたちが困っているというお家に介入すると、実はもうその家庭の中が経済的な困窮であったり、障がい、それから高齢者だったり、地域との関係性だったり、どこから何を一番優先して解決にあたればいいのかわからないというケースがすごくたくさんあります。実は今日、そのことで朝から市役所の中をうろうろしていたのですが、どうしてもいろんなところに行っている人々に話を聞かないと、こちらの欲しい情報が入ってこないんですね。

市長がおっしゃっている児童家庭支援センターもそうですけど、ワンストップの窓口で、とにかく子どもがいる世帯はここに聞けばどうにかなるよと、ここではやっていないことだけど、その件はこの窓口ですよ、このままつなぎますよと。何かいろんな施策ですとか、支援の在り方を多く知っている人材をいかに上手に配置するかですが、ここに相談してくればとにかく

	<p>く大丈夫だよという窓口が一つでも増えると助かります。やはり子育て世帯、子育ての世代の人たちは、本当に一杯一杯で、しかもこのコロナ禍で子育てすることはものすごく大変なことなので、ワンストップという考え方で、あとはやはり人材をいかにうまく配置するかですが、日田市の中での支援の在り方を大きく把握できていて、うまくつなぐことができる人を配置するとそのあたりがうまくいくのかなと漠然とですが思っています。</p>
<p>市長</p>	<p>そこが大きな課題だと思っています。行政が直接そこを管理すると異動があったりということになってしまいますし、その継続性だったり過去というのがどれほど引き継がれるのかわからない。かといって、すべて民間にお任せして、ずっと見ていただけるかということもよくわからない。</p> <p>ただ、どちらにしても課題があるので、その課題を克服することが先ほど言われた質の高いワンストップの場所というものになるのだろうと思っているので、それを教育委員会とこども未来課が協議をしながら、情報共有ができるのかということや情報の取扱いをどうするのかなどについて、今から詰めていかなければいけないところですね。</p> <p>国のほうでも「子ども家庭庁」というのができるということです。以前は「子ども庁」だったのに、家庭というものを外すわけにはいかないだろうということで、わざわざ「子ども家庭庁」に名前を変えたというようなお話もされていましたが、実際そうだろうなという気はします。</p> <p>これから児童家庭支援センターはできるものの、実質的な取組はこれから始まっていくことになりますので、なるべく早い時期にある程度の形はしっかり作りたいと思っています。</p> <p>ですから今、教育委員会で抱えてる課題で、例えばやまびこ学級でお世話させていただいている子どもたちについて、何かほかに手段がないとか、体験や経験ができないかというのをあわせてやっていければというふうには考えているところです。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>今の総合的子ども支援拠点のお話につきましては、担当のこども未来課が機能であるとか体制であるとか、そういったところを今後詰めていくというような予定でございます。</p> <p>総合教育会議を2月にもう一度開催したいと思っておりますが、その際には、こども未来課から、その時点での案をお示しさせていただいて、また改めて皆様の御意見をお伺いするような機会を設けさせていただきたいと思っております。また次回、市長のお考え等もございまして、それを踏まえた御意見を改めてお聞かせいただければと思っておりますのでございませう。</p>
<p>教育次長</p>	<p>先ほど市長からお話があったように、支援拠点の整備にあたっては当</p>

	<p>然、福祉と教育が連携していかなければなりません、新たな拠点となる施設にどんな機能を盛り込んでいくのかということが、まず基本になってきます。そういった意味では、先ほど市長のお話で御紹介ありましたやまびこ学級であったり、教育長のお話に出ましたスクールカウンセラーをはじめ、専門スタッフが教育センターの中に配置されていますので、こういった形で機能をひも付けして、新しい施設の中に盛り込んでいけるのかと。</p> <p>その中で、ワンストップをいかに効率的といいますか、効果的に対応できるのかというところを踏まえて今協議しているところであります。その結果、絵になったものを先ほど課長が申しましたように、また教育委員の皆さん方に御説明しながら、意見をいただきたいと考えているところであります。</p>
<p>市長</p>	<p>次回、何か説明していただけるとのことですが、私の立場から言えば、切れ目のない支援策、もしくはセーフティネットをしっかり張り続けていきたいというのがあります。生まれたときから、幼保、小中、せめてそこまでは何とか我々行政や教育委員会の責任で、子どもたちを育ててみたいと考えているところです。</p> <p>これまでは教育委員会となると、小中のみという話になっていましたけれど、一部高校とも情報共有しながらやっていることもありますし、事実、幼保を含めてそうですし、もっと言うと、その子どもの健康状態だったり精神的な健康状態の確認とかになると、もっと小さい、生まれてすぐの健診から始まることになりますので、そこからずっと、少なくとも高校入学までは、日田市として責任を持って、この町で生まれた子どもを支えていくことを施策の一つとして、今回そういった拠点というのを作ろうと考えていますので、どのような運用がいいのかとか、実際我々がなかなか気付かないような課題もあったりすると思いますので、皆さんから聞かせていただければと思っています。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>では、本日の議題に関してでございますけれども、種々御意見いただきましたので、最終的には次回2月の総合教育会議におきまして、方向性としましては、この基本方針はこの改訂案で行かせていただき、ただ、教育行政実施方針の中で、具体的な取組がもっと見える形で改訂できないかというところは、検討させていただき、その結果をもう一度お諮りさせていただきたいと思っております。以上でございます。</p>
<p>市長</p>	<p>詰めた話は次回、2月ということですがけれども、ほかに何か、今日お話ししておきたいことがあれば。</p> <p>ないようでしたら、先ほど事務局から話がありましたように、次回までにいろいろ決めていきたいということでございます。</p> <p>今日お話をいろいろされた、また聞いていただいた件について、また御</p>

事務局	<p>意見も伺いながら、最後しっかりしたものを作っていきたいと考えておりますので、次回2月の総合教育会議までに、いろいろ御意見をそろえて来ていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。最後に事務局よりお知らせ、確認でございます。今、市長のお話でありました、第2回の総合教育会議ですけれども、来年の2月8日火曜日、午前10時からの予定で進めたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。会議の際には、先ほどありました教育大綱及び教育行政実施方針の件、また、先ほどの支援拠点の関係の話に関し、議題を設けて意見交換を行わせていただきたいと思っております。</p> <p>それでは以上をもちまして、令和3年度第1回総合教育会議を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">終了時間 午後2時15分</p>
-----	--